

## 『第3回学術交流会』

平成28年3月25日(金)、周東総合病院にて「第3回学術交流会」が開催されました。

当院では、毎年多くの職員が全国で開催されている学会や研修会等で発表及び講演をしています。しかし、誰がどのような研究発表をしているのか、どのようなフィールドで活躍しているのか、職員同士の共有が図れていない現状がありました。そこで、全国学会などにおける研究発表の内容を病院へフィードバックし、他職種との交流・情報共有を図ることを目的として「学術交流会」を開催しており、今年で3年目を迎えます。

今回の交流会では、平成27年度に学会等で発表された演題の中から、看護部2題、医局、放射線技術科、リハビリテーション科の全5題の発表が行われ、昨年の交流会でベストプレゼンテーション賞を受賞した診療情報管理課の方に座長をして頂きました。

総勢125名(医師6名、看護師57名、事務員19名、その他メディカルスタッフ43名)の参加があり、会場からも多くの質問や意見が飛び交い、とても有意義な交流会となりました。最後に院長先生より御講評を頂き、各部署長の投票によって決定されたベストプレゼンテーション賞の発表及び表彰が行われ、今年の交流会は終了しました。

アンケートでは、「面白い取り組みなので、今後もぜひ継続して下さい」や、「他部門も頑張っていることが分かり刺激となった」、「他部門の発表の内容は新鮮で興味深く聞けました」など、前向きな意見が多数寄せられ、改めて有意義な交流会であったと感じました。

今後も、他職種の交流、情報共有の場としてぜひこの学術交流会を継続していきたいと思えます。  
(周東活性化プロジェクトチーム：研究検査科 岡田)

